

コード	20401
作成年度	21 年度

基本事業評価表

基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進
--------	-----------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	暮らしを支える水道の整備

課コード	114		関係課名	若松支所、新魚目支所、有川支所、奈良尾支所					
主管課名	水道課								
基 本 事 業 の 目 的									
水道は、住民の健康で快適な生活を支えるライフラインとして、また、企業などの経済活動を支える社会基盤として、いつでもどこでも、安心安全な水道水を安定的にかつ低廉にして供給することを目的とする。									
基 本 事 業 の 成 果									
成果指標名称 1			給水原価			成果指標名称 2			
成果指標の積算根拠			(経常費用+受託工事費+地方債償還金)/年間総有収水量			成果指標の積算根拠			
目標達成年度			平成21年度			目標達成年度			
目標達成数値			300円			目標達成数値			
年 度				H17		H18	H19	H20	H21
成 果 指標1	目標 A		単位	円	300	300	300	300	300
	実績 B			円	310	322	329	341	
	達成率 B/A			%	103.2	107.2	109.7	113.5	
成 果 指標2	目標 A		単位	%					
	実績 B			%					
	達成率 B/A			%					
1次評価	現状	既存の水道施設は、老朽化により更新時期を迎える施設が多いことから、漏水対策を行ってもなかなか有収率の向上が図れない。 本庁支所間の距離及び水道情報装置等の整備状況により、本庁一括管理が図れない。							
	課題	水道基幹施設の老朽化による更新及び施設の統廃合、また、高度な水質を保つための施設整備が必要であり、今後も大きな設備投資を要する。 国の指導により平成28年度までに企業会計へ移行し、独立採算の上水道とならなければならず、更なる受益者負担を招くため、組織の見直しを含めた計画的かつ慎重な準備を要する。							
	改善	早期に本庁一括管理とし、積極的に施設の統廃合、また組織機構の見直しを計画的に行い、より一層の合理性、効率性を図りながら、更なる給水コストの縮減を図る。							
2次評価		町民のライフラインである水道施設の維持・管理は適正に行うこと。また基盤整備においてはローコストを念頭に計画的に実施し、運営においては経営計画を基として効率的かつ有効的な運営に努めること。							
住民等の意見									
町の対応									

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。